

[参考資料]

1. 原料費調整制度の概要

- 原料費調整制度は、LNGとLPGの輸入価格(貿易統計値)の変動に応じて、毎月、従量料金単価(1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- 基準平均原料価格(83,350円/ト)と平均原料価格(3~5ヶ月前の3ヶ月間のLNGとLPGの輸入価格)の差額100円につき、1m³あたり0.081円(税抜)調整します。
- ガス料金の計算に適用する平均原料価格については、133,360円/トを上限とします。

2. 平均的なガス使用量(31m³/月)のご家庭のガス料金(2022年12月検針分)

(1) 平均原料価格の算定

$$\begin{array}{rcll} \text{<LNG平均輸入価格>} & & \text{<LPG平均輸入価格>} & \\ 142,800 \text{ (円/ト)} & \times & 101,820 \text{ (円/ト)} & \times & 0.0466 & = & 141,490.092 \text{ (円/ト)} \\ & & & & & & \\ & \Rightarrow & 141,490 \text{ (円/ト)} & & & & \text{※10円未満を四捨五入} \end{array}$$

(2) 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(原料価格変動額)の算定

$$\begin{array}{rcll} \text{<平均原料価格>} & - & \text{<基準平均原料価格>} & = & & \\ 133,360 \text{ (円/ト)} & - & 83,350 \text{ (円/ト)} & = & 50,010 \text{ (円/ト)} & \\ & \Rightarrow & 50,000 \text{ (円/ト)} & & & \text{※100円未満を切捨て} \end{array}$$

※平均原料価格が上限(133,360円/ト)を超えたため、平均原料価格を133,360円/トとして算出した単価となります。

(3) 従量料金単価の調整額の算定

$$\begin{array}{rcll} \text{<原料価格変動額>} & \times & 0.081 \text{ (円/m}^3\text{)} & \div & 100 \text{ (円/ト)} & \times & \text{<消費税率>} & = & & \\ 50,000 \text{ (円/ト)} & \times & & \div & & \times & (1 + 0.10) & = & 44.55 \text{ (円/m}^3\text{)} \\ & \Rightarrow & 44.55 \text{ (円/m}^3\text{)} & & & & & & \text{※小数点第3位以下を切捨て} \end{array}$$

(4) 従量料金単価(税込)の算定(一般ガス供給約款 料金表Bの場合)

$$\begin{array}{rcll} \text{<基準単位料金>} & + & \text{<従量料金単価の調整額>} & = & \\ 169.03 \text{ (円/m}^3\text{)} & + & 44.55 \text{ (円/m}^3\text{)} & = & 213.58 \text{ (円/m}^3\text{)} \end{array}$$

(参考) 2022年11月検針分の従量料金単価との比較

$$\begin{array}{rcll} \text{<2022年12月の従量料金単価>} & - & \text{<2022年11月の従量料金単価>} & = & \\ 213.58 \text{ (円/m}^3\text{)} & - & 204.04 \text{ (円/m}^3\text{)} & = & +9.54 \text{ (円/m}^3\text{)} \end{array}$$

(5) ガス料金(2022年12月検針分、税込)

$$\begin{array}{rcll} \text{<基本料金>} & + & \text{<従量料金単価>} & \times & \text{<ガス使用量>} & = & \\ 1,588.88 \text{ (円/月)} & + & 213.58 \text{ (円/m}^3\text{)} & \times & 31 \text{ (m}^3\text{/月)} & = & 8,209.86 \text{ (円/月)} \\ & \Rightarrow & 8,209 \text{ (円/月)} & & & & \text{※1円未満を切捨て} \end{array}$$

以上